



キャンプ利用状況 (10月1日現在)

- 宿泊利用者数 延べ 3,344 名 *9/30 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	10/1	2	3	4	5	6	7
曜日	土	日	月	火	水	木	金
宿泊者	41	9	15	18	15	15	19
活動者	22	16	13	14	15	16	16

・被災地災害ボラセンも、震災から半年以降、復旧支援活動から生活復興支援活動にシフトしていることや、学生を中心とする夏季の活動が終了したこともあって、ボランティア活動への参加者は減少しています。キャンプでも同様の傾向にあります。宮古市、山田町、大槌町には継続して行うニーズがまだまだあります。キャンプでは、ブログなどを通して全国の志ある人に呼び掛けています。

■ 谷澤さん ごくろうさまでした !! ■

- ◆ キャンプが開設して間もない7月12日以来82日間滞在しながら、かわボラさんとして活動された谷澤俊之さん(東京都)が、2こととなりました。キャンプに冷静なリーダーとして、ほかいのある存在。谷澤さんは、キはなく、自らのボランティアをいいます。
- ◆ 1日夜、かわボラさんの仲間との念パーティは、差入れなどもあ今後のご活躍をお祈りします。



大槌町/思い出の写真返却展で活動する谷澤さん

企画で玄関前で行われた卒業祭り盛り上がりしました。

* なお、谷澤さんの人となりについて、9月30日付けの朝日新聞社会面「宮古日記」に掲載されました。

■ 被災地支援 官民連携の連絡会議開かれる ■

- ◆ きのう30日、遠野市で岩手県主催の第2回東日本大震災津波NPO・ボランティア連絡会議が開催され、盛岡市社協も出席しました。国や県、県社協、JPF、遠野まごころネットなど8団体から現状報告が行われました。また、被災地の方への見守り支援や仮設住宅に入居されている方への冬季支援、活動資金の確保などについて、意見の交換がありました。

